

6・10 日本共産党演説会での決意表明

皆さんこんにちは。3人の県議団を代表して、参院選、知事選、県議選勝利めざす決意を述べます。

前回の県議選で3人の県議団に前進したことで、3つの大きな役割を果たすことができました。

第一に、戦後最大の大災害となった東日本大震災津波からの復興で、被災者の立場に立った取り組みを進めることができました。

被災者の命綱となっている被災者の医療費・介護保険利用料の免除を、今年も8年連続で継続させてきたことは、最大の成果です。被災した山田・大槌・高田の県立病院の再建も今年3月ですべて再建されました。住宅再建への100万円の補助、被災した中小企業への独自の直接補助も岩手県ならではの取り組みです。

大震災津波からの復興では、達増県政が、「被災者一人一人の幸福追求権を保障する」という憲法13条の立場に立った取り組みを進めてきたことが、被災者本位の復興を進めるうえで特筆すべきことで、日本共産党は復興与党として、達増県政の推進力の役割を果たしてきました。

第二に、県民の運動と結んで、県民の声で県議会と県政を動かしてきたことです。

子どもの医療費助成では、就学前までの現物給付化を実現し、小学校卒までの拡充も今年度中に実現の見通しです。

35人学級の実現では、今年度小学校5年生に拡充され、来年度は小中全学年で実施される見通しです。

被爆者の皆さんと連携し、全国に先駆けて「核兵器禁止条約の署名と批准を求める請願・意見書」を採択しました。市町村議会では28の議会で採択されています。

第三に、市民と野党の共闘の実現に、ぶれずに、誠実に取り組んできたことです。2年前の参院選で木戸口英司さんを当選させ、来年の参院選めざす野党共闘の協議を進めています。昨日は、今日の赤旗新聞に大きく報道されましたが、盛岡駅前、4野党合同街頭演説を行いました。知事選挙での市民と野党の共闘にも全力で取り組みます。

来年の参院選で必ず勝利し、県議選で、かけがえのない3人の議席を必ず勝ち取り、さらに議席増に取り組むことを決意しご挨拶いたします。共に頑張りましょう。